

研究室の活動記録

平成 25 年度修士論文

平川友恵「近代日本の看護婦養成におけるジェンダー・リスペクタビリティ・職業規範—京都看病婦学校を中心として」

佐々木基裕「社会学界における現代思想の受容過程—『社会学評論』の引用分析」

中村頭「低反応な高校生を捉える—“問題の無い子”の問題—」

イベント

2010年5月31日 16:30~18:00 於：総合研究2号館第8演習室

第3回著者と語る会（ゲスト：竹内洋先生〔京都大学名誉教授、関西大学教授（当時）〕）

参加者：約30名

竹内洋先生を迎えて、著書『メディアと知識人—清水幾太郎の覇権と忘却—』（中央公論新社）を中心として、メディア知識人論について広くお話しいただきました。参加者からもさまざまな質問が寄せられ、盛会のうちに閉会いたしました。

2011年7月8日 15:00~18:00 於：教育学部本館第1会議室

『教育文化を学ぶ人のために』合評会

参加者：報告者・評者を含めて約30名

2011年4月に発行された稲垣恭子編『教育文化を学ぶ人のために』（世界思想社）の著者の先生方を迎えて、合評会を行いました。それぞれの先生方に収録論文について語っていただき、本講座の院生がコメントをするという形式で、活発な議論が交わされました。

2014年1月11日・12日 9:30~17:00 於：京都大学百周年時計台記念館会議室III

Conference: “Childhood, Education and Youth in Imperial Japan, 1925-1945”

参加者：報告者を含めて各日とも約30名

京都大学大学院教育学研究科とマンチェスター大学文学言語文化学部日本研究学科共催（オーガナイザー：稲垣恭子、ピーター・ケイブ）の国際カンファレンスを行いました。戦前期日本の子供・教育・若者をテーマに、2日間にわたって日本、イギリス、アメリカ、香港、フィリピン、フランス、オーストラリアの研究者20名による研究発表（I~VIII部会）とディスカッションを行ないました。

2014年2月9日 15:00~17:00 於：総合研究2号館第1講義室

講談師・日向ひまわり氏講演会「寄席演芸『講談』の世界に入って」

参加者：35名

講談師日向ひまわり氏を迎えて、講談「山之内—豊出世の馬揃え」をご披露いただきますとともに、講談師としてのキャリア、師弟制度、修行、師弟関係など講談の世界とキャリア形成の過程についてさまざまなエピソードを交えながらご講演いただきました。